

令和2年度事業計画書（案） 昨年度との主な変更、補足説明等

I 美術を通じた交流を促進する

① 広く認知され、多くの人にとって横須賀市を訪れる契機となる。

【事業計画】

- ・「2 広報・集客促進事業」のうち「(5) 商業撮影の受入と誘致」を美術館のPRにつながるようなTV放送、雑誌取材を評価指標に加えるため、「(5) 商業撮影、取材の受入と誘致」に変更しました。

【達成目標】

- ・年間観覧者数目標を近年の観覧者数の状況を踏まえ、「100,000人以上」から「110,000人以上」に変更しました。

【実施目標】

- ・「商業撮影の受入と誘致を推進し、美術館のイメージアップを図る。」を事業計画の記載変更に合わせて「美術館のイメージアップにつながるようなTV放送、雑誌取材、プロモーションビデオ撮影などの商業撮影、取材を受入れる。」に変更しました。

② 市民に親しまれ、市民の交流、活動の拠点となる。

- ・新規事業や大きな変更点などはありません。

II 美術に対する理解と親しみを深める

③ 調査研究の成果を活かし、利用者の知的欲求を満たす。

- ・大きな変更点などはありません。

- ④ 学校と連携し、子どもたちへの美術館教育を推進する。

【事業計画】

・「2子どもたちへの美術館教育」のうち「(1) ワークショップの開催」の回数を、8回から9回に変更しました。変更の理由は「⑦すべての人にとって利用しやすい環境を整える。」の「未就学児ワークショップ」を本事業と位置付けたためです。

- ⑤ 所蔵作品を充実させ、適切に管理する。

令和元年度より、横須賀市のふるさと納税を通じて、美術品等取得基金に寄附金を積み立てる取り組みを始めています。しかし、寄附額が当年度中には十分な額に達しないため、令和2年度に美術品購入のための予算要求は見送りました。したがって、実際に美術品を購入するのは、令和3年度以降となる見通しです。

III 訪れるすべての人に安らぎの場を提供する

- ⑥ 利用者にとって心地よい空間、サービスを提供する。

当館は海の前に立つ建築という特性上、潮風の影響を受けやすく、錆が出やすい環境にあります。美観を保持するため、繁忙期を過ぎた秋ごろから正面建具の塗装を行います。また、屋根ガラスの一部を交換する工事を行います。

- ⑦ すべての人にとって利用しやすい環境を整える。

【達成目標】

・「福祉関連事業への参加者数延べ人数」を「360人以上」から「320人以上」に変更しました。人数減の理由は昨年度本事業に含まれていた「未就学児ワークショップ」の年齢制限をきょうだい児等も参加しやすくしてほしいとのニーズに合わせ緩和し、「④ 学校と連携し、子どもたちへの美術館教育を推進する。」の中の「ワークショップの開催」に位置付けたためです。

- ⑧ 事業の質を担保しながら、経営的な視点を持って、効率的に運営・管理する。

・変更点などはありません。